



# ひろば 大代

No. 558

令和8年1月号

大田市の人口  
(R8.1.1 現在)  
大田市 30,786 人  
内大代町 269 人  
男 129 人  
女 140 人

## 東京石見高山会会長の

### 交代について

東京石見高山会 市原幸文

大代の皆様、関西高山会、東京石見高山会の皆様、新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで清々しい穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、表題に掲げましたが、今年の十一月の第三八回総会において、新会長として大場隆男様が出されました。副会長には武田敏子様、監事として渡井和男様、幹事として、岡田修二様、横手由美子様、私は顧問となり、全員で六名で運営していく事となりました。東京石見高山会は故米原光義様の発起により、昭和六十年（一九八五年）に第一回が開催され、爾来令和七年（二〇二五年）で四十年間継続されています。

初代会長は渡俊則様、二代目は田中憲経様、三代目は楠義見様、四代目は今田潔様、五代目は松本健一様、六代

目が市原幸文、そして七代目が新会長の大場隆男様になります。

第十回には大代神楽団に上京して頂き、大代から三十五名、関西高山会から四名、在京者六十一名で、合計百名の参加者で賑わいましたが、この四十年の間に大代の人口も減少し、さらに遠隔地の関東に就職する方も稀となり、新会員が無く、現会員も高齢となり、物故者も多く、外出にも不自由な方が増え、参加者が減少しています。

このような状況の中、もう少し頑張って運営して見よう。と言うことになりました。

関東にお住まいのご兄弟やお子様方がありましたら、まちづくりセンター長の永井利樹様に伝言をお願い致します。会長在任中は大変お世話になりました。ありがとうございました。



## 新年の挨拶

関西高山会会長 砂原政好

新年明けましてお目出度う御座居ます。

大代高山会、東京高山会、関西高山会の皆さん本年もよろしくお願い致します。

皆さんにおかれましては二〇二六年を迎えるに当たり穏やかで暖かなお正月を迎える事が出来たでしょうか。ウマーク希望を開く年になる様にしたいものです。皆さん今年も又、地震ですね。何と島根県で起きたのが関西でも震度3ですよ。段々と広範囲になつてますね。

さて、高山会の皆さんにとって健康で幸せな一年になる様に勇氣を持って、一步を踏み出し、未来を切り開く強さを身に付けて世の中に挑戦して見ませんか。今、社会は、大きな転換期を迎えているのではないのでしょうか。今年は午年だから、年賀状に「みんなウマークいくように」と書いてあるのが目

立ちます。馬はかつては、農耕や輸送、乗り物に使われて人間に取って身近な存在でした。日本では、神様の乗物とされ神事や



祭りでは立役者でした。十二支の七番目午年と言う事ですね。そして馬が大地を駆け抜ける様に一步一步確かな変化を作り真つすぐに力強く迷わず前に進む年に高山会もウマーク前進しましょう。

さて、今年の関西高山会の総会は、6月14日(日)に兵庫県の尼崎でホテルヴィスキオ尼崎を予約しています。多数の参加をお待ちしています。皆さんの知恵と力をつくしてウマーク高山会が続けて行ける様に希望を持って前に進みませんか。関西におられる方を紹介して下さい。お願いします。何でもウマーク行く年になる事をお祈り致します。

## 新年の挨拶

大代消防団 長谷和孝

新年明けましておめでとうございます。

平素より消防団活動に對しましてご理解ご協力ありがとうございます。令和七年四月に四班の輸送車と小型ポンプなどの消防機材が新しくなりました。今年の大田市消防出初め式、ならびに一斉放水に使用しました。

さて、近年は今までに経験したことのない自然災害が発生しております。昨年災害視察で、岡山県倉敷市真備地区に行きました。今は復興しており普段の町並みですが配布された資料には今までに経験したことのない状況だったとの説明がありました。各家庭では、火災警報器の設置、電池の点検、消火器の有効期間点検又は更新をお願いします。普段から、防災並びに減災を意識して今年も火災や災害のない安全安心な一年であつてほしいものです。



## 二十年の命

上市 岩切真央

祝成人  
おめでとう  
がんばります

私は十月に誕生日を迎え、二十歳になりました。二十歳になるにあたり一番思い浮かんだのは飲酒解禁でした。

現在は米子市に住んでいます。人生で初めてのお酒は実家に帰省して、両親と嗜みました。顔が赤くなって、どんどん眠たくなってきて、これがお酒かとしつかり味わいました。これから社会人になるにあたり、飲み会などでお酒に飲まれないよう気をつけていきます。

誕生日を迎えた日の夜に、二十年も生きた自分も、育て、見守ってくれた両親も頑張ったなと思いました。

私は生まれてすぐ、先天性の呼吸器の病気でした。心臓が良くなく、産院

からすぐに大病院へ搬送されました。生まれて少ししか経っていないのに母と離れました。余命も宣告されました。「どのくらいの余命だったの？」と母に一度だけ訪ねたことがあります。が、ショックで覚えていない。一年もなかった。と教えてくれました。私の命が今もなお続いているのは、両親や祖母見守ってくださった沢山の方々のおかげだと思い、感謝の気持ちでいっぱいです。

また、この二十年という人生の中で、幼い頃から私を見守り育ててくれた大叔母が六月に他界しました。お通夜に行く前までは、まだ亡くなったという実感が沸かず、ただ悶々としていました。今まで他の親族のお葬式では泣いたことがなかったのですが、今回も泣かないだろうと思っていました。ですがそれも棺の中で眠る姿を見た瞬間。涙が止まりませんでした。大好きな人が亡くなるのがこんなにも悲しいとそこでやっと実感を持ちました。私が年長の頃、「あなたがせめて高校を卒業するまでは生きていたい。」と大叔母が

言っていてくれました。その言葉より2年も長く生きてくれて、約束を守ってくれてすごく嬉しかったです。大叔母が亡くなった2日後に第一希望の会社から内定をいただきました。「人が亡くなった後には善い事が起こる」と聞いたことがあります。大叔母のお陰で春から、福岡で新しい人生。大人として、社会人として初めの一步を踏み出すことができます。

これまでの人生、これからの人生の一日一日を大切にこの先も生きていきたいと思えます。

## 二十歳を迎えて

柿田 岡田七海



昨年の八月に無事に二十歳を迎えることができました。ここまで成長することができたのは、家族をはじめ友人や先生方、そして地域の皆さんの支えがあったからだと感じています。心より感謝しています。

高校卒業後、看護大学に進学し、看



護師になるために勉強しています。試験や実習など大変なこともあります。頑張って取り組んでいきたいと思ひます。また、バイトなどの社会経験を通して多くのことを学び、大人として成長できるように頑張ります。

まだまだ未熟で学生の身であります。が、家族や周囲の方々に支えられていることに感謝し、成人として責任ある行動を心がけ、社会に貢献していききたいと思ひます。

## 俳句

### ❀あすなる句会❀



川上 岩田律枝

正月やひ孫誕生祝いおり

水仙の一、二輪咲き庭の隅

上市 横田美恵子

鐘一つ打てた喜び初明り

蠟梅の一枝切りて香り待つ



1月2日午後1時から山辺八代姫命神社遥拝所に於いて、大江高山神楽社中新春神楽が開催されました。

昨年度から、町内外の子どもたちも入団して、子猿がいっぱい賑やかな神楽公演になりました。町内の小学生は、塩祓いデビューをし、親子共演もあり、大雪の中でしたが町内外の皆さまも拍手喝采で楽しんでおられました。

## 2月行事予定

▼4日(水) 住民税出張申告相談

13時30分〜まちセン

▼16日(月) 言事部

▼22日(日) 大代高山会定例会

▼25日(水) 地区社協講演会 14時〜

5日・12日・19日・26日(木)

13時30分〜15時30分

【1月〜3月は午後開催になります】

